

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立関高等学校 事業実施報告書⑤

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 IV 】
2 実施対象者	2年生全員
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (家庭科、家庭基礎) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	衣服の構成の違いから文化の多様性に気付かせる。 和服の着装・片付け体験を通して日本の衣文化について知り、それを継承することの大切さを確認させる。
5 取組内容	洋服と和服の違いを知る。(立体構成と平面構成) 日本以外の平面構成の民族衣装を知る。 和服の男女による仕立てや着付けの違いを知り、着用する時の決まり事を知る。 実際に浴衣を着装したたんでみる。   

6 主な成果	生徒は和服と洋服の違い、和服の談義所の形の違いに興味を持った。 実際に着てみて、和服は自分を引き立ててくれる衣服であることに気付き、着る機会を持ちたいという生徒が多くいた。 授業後のアンケートにおいても8割以上の生徒が和服に興味を持ったと答え、着られるようになりたいと考えた生徒が男女を問わずいた。 また、日本文化を継承する必要性を感じた者もいた。今後、オリンピック・パラリンピックを契機にして、多くの外国人が日本に、あるいは関市にも訪れることが期待されるが、その際に日本文化を伝える一手段となり得る学習を行うことができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	着付けをデモンストレーションで見せるだけでなく、分かりやすいように各机に手順シートを準備した。 日本以外の平面構成の衣装を実際に見せた。 グループでお互いに着付けを行った。
8主な課題等	生徒の感想にも、「着付けの動画とかがあると分かりやすいと思った」「全員に浴衣を着てほしかった」とあったが、理系と文系で男女の人数に差があるため、5人に1着など十分な数を準備することができない。 40人の一斉指導では細かなところまで手が回らない。
9来年度以降 の実施予定	今後も家庭基礎の授業で取り組んでいく。